

## 我が教職人生の原点は教育実習

香川 雅之（教育・昭和55年卒）

長年蓄積してきた資料の整理中に自作資料「世界地理の指導における板書の構造化」を見つけました。世界地理の実践授業55時間（1983年度実施）の具体的な板書構造図を取りまとめた資料でした。資料の表紙に「インドの農業」の板書を掲載しましたが、この板書と巡り会えたことが、私の教職人生に大きな影響を与えたと言っても過言ではありません。

中学校の社会科教員になることを夢見ていた私にとって、香川大学教育学部附属坂出中学校での教育実習は、何物にも代え難い貴重な学びの場となりました。特に、主題名「インドの農業」の授業づくりの過程で、同級生と協働で作成した板書を今でも忘れることができません。世界的な農業生産国であるインドが、食料を輸入しているという現実から導き出された知的好奇心を揺さぶる学習課題を解決するために、生徒が立てた予想を指導者と生徒が様々な資料を活用しながら協働で検証し、その結果を整理しまとめるという一連の学習内容・活動の要点が構造的な板書となって生徒全員に的確に伝えられたのです。この成功体験が、私に板書のもつ重要性等を深く認識させることとなりました。

正式採用され教壇に立つことになった私は、「1時間の学習内容・活動の要点を的確に把握できる構造的な板書」を常に意識し、いかに多忙であっても板書を作成して授業に臨むという姿勢の堅持に尽力しました。教職5年目を迎えるころには、地理・歴史・公民の3分野全てにわたるオリジナルな板書を作成し終えたと記憶しています。

余談ですが、国分寺町立国分寺中学校で勤務していた頃、私の板書を熱烈に支持してくれる生徒がいました。「先生の板書のお陰で社会科が好きになりました」という彼の言葉と卒業時に彼から譲り受けた地理及び歴史ノートは、今でも私の大切な宝物です。

今、義務教育諸学校では教育のICT化が推進され、デジタル教科書の活用も今後益々盛んになるものと思われます。しかし、教育のデジタル化が加速されても板書に代表されるアナログ的な教科指導等の重要性は、決して色褪せることはないと考えます。特に、若い教員には、「学ぶ意欲や知的好奇心を高める学習課題」「思考力・判断力・表現力を高める学習指導過程」「1時間の学習内容・活動の要点を的確に把握できる構造的な板書」の重要性を常に意識し、地道に授業力の錬成に努めてほしいと願っています。

香川大学教育学部附属坂出中学校での教育実習は、紛れもなく38年間にわたる私の教職人生の原点でした。熱心にご指導くださった教官の方々や授業づくり等で苦楽を共にした同級生、拙い私の公開授業を真剣に傾聴し積極的に発表するなど応援してくれた附属坂出中学校の3年生等、当時の多くの方々に改めて感謝をする今日この頃です。